

会 社 名 アトミクス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 宮里 勝之
 コード番号 4625
 問 合 せ 先 取締役執行役員管理統括部長 富士田 学
 電 話 03-3969-0471

(訂正・数値データ訂正)
 「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、2026年5月14日に発表しました表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

2026年5月14日に開示しました「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の文言及び連結キャッシュ・フロー計算書の記載内容に一部誤りがあることが判明しましたので、これを訂正するものです。

2. 訂正内容

訂正箇所は下線を付して表示しています。

サマリー情報

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(訂正前)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2026年3月期	百万円 637	百万円 <u>△97</u>	百万円 △35	百万円 3,336
2025年3月期	1,020	<u>△652</u>	△131	2,831

(訂正後)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2026年3月期	百万円 650	百万円 <u>△110</u>	百万円 △35	百万円 3,336
2025年3月期	1,020	<u>△652</u>	△131	2,831

1. 経営成績の概況（添付資料2～3ページ）

（訂正前）

（2）当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて13億40百万円増加し、163億65百万円となりました。この要因となった流動資産、固定資産の状況は次のとおりです。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15億91百万円増加し、103億円となりました。これは主に、現金及び預金で14億5百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で51百万円、電子記録債権で1億25百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億50百万円減少し、60億65百万円となりました。これは主に、建物及び構築物で2億57百万円、投資有価証券で1億39百万円、繰延税金資産で98百万円、その他（主に長期前払費用・差入保証金）で97百万円増加したものの、土地で8億79百万円減少したことによるものです。

また、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億70百万円増加し、45億23百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金で1億84百万円、電子記録債務で51百万円減少したものの、短期借入金で1億円、未払法人税等で3億89百万円、賞与引当金で1億83百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、6億11百万円となりました。これは主に、株式給付引当金で14百万円増加したものの、役員退職慰労引当金で7百万円、その他（主にリース債務）で13百万円減少したことによるものです。

（訂正後）

（2）当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて13億40百万円増加し、163億65百万円となりました。この要因となった流動資産、固定資産の状況は次のとおりです。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15億91百万円増加し、103億円となりました。これは主に、現金及び預金で14億5百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で51百万円、電子記録債権で1億25百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億50百万円減少し、60億65百万円となりました。これは主に、建物及び構築物で2億57百万円、投資有価証券で1億39百万円、繰延税金資産で98百万円、投資その他の資産のその他で97百万円増加したものの、土地で8億79百万円減少したことによるものです。

また、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億70百万円増加し、45億23百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金で1億84百万円、電子記録債務で51百万円減少したものの、短期借入金で1億円、未払法人税等で3億89百万円、賞与引当金で1億83百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、6億11百万円となりました。これは主に、株式給付引当金で14百万円増加したものの、役員退職慰労引当金で7百万円、その他で14百万円減少したことによるものです。

(訂正前)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は6億37百万円（前連結会計年度は10億20百万円獲得）となりました。これは主に、固定資産売却損益で7億28百万円、売上債権の増加で1億77百万円、仕入債務の減少で2億36百万円、法人税等の支払額で1億48百万円減少したものの、税金等調整前当期純利益で13億47百万円、減価償却費で4億97百万円、賞与引当金の増加で1億83百万円増加したことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は97百万円（前連結会計年度は6億52百万円使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入で16億65百万円増加したものの、有形固定資産の取得で6億26百万円、無形固定資産の取得で1億45百万円、定期預金の預入れによる支出で9億円支出したことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
自己資本比率	68.6	69.4	67.1	68.9	68.6
時価ベースの自己資本比率	22.7	25.8	25.0	21.3	26.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.3	0.6	0.2	0.1	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	282.1	161.3	499.3	1,404.0	<u>369.7</u>

(訂正後)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は6億50百万円（前連結会計年度は10億20百万円獲得）となりました。これは主に、固定資産売却損益で7億28百万円、売上債権の増加で1億77百万円、仕入債務の減少で2億36百万円、法人税等の支払額で1億48百万円減少したものの、税金等調整前当期純利益で13億47百万円、減価償却費で4億97百万円、賞与引当金の増加で1億83百万円増加したことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は1億10百万円（前連結会計年度は6億52百万円使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入で16億65百万円増加したものの、有形固定資産の取得で6億26百万円、無形固定資産の取得で1億45百万円、定期預金の預入れによる支出で9億円支出したことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
自己資本比率	68.6	69.4	67.1	68.9	68.6
時価ベースの自己資本比率	22.7	25.8	25.0	21.3	26.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.3	0.6	0.2	0.1	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	282.1	161.3	499.3	1,404.0	<u>377.2</u>

3. 連結財務諸表及び主な注記（添付資料 11 ページ）

（訂正前）

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日）	当連結会計年度 （自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	331,333	1,347,924
減価償却費	410,646	497,808
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△23,273	△6,882
賞与引当金の増減額（△は減少）	22,570	183,473
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	10,363	△7,901
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	8,114	14,030
退職給付に係る調整累計額の増減額（△は減少）	△4,620	△8,966
株式給付引当金の増減額（△は減少）	17,767	16,254
クレーム費用引当金の増減額（△は減少）	△9,059	△4,841
環境対策引当金の増減額（△は減少）	170	△34,520
受取利息及び受取配当金	△12,753	△17,808
受取保険金	△1,046	△18
補助金収入	-	△5,000
固定資産受贈益	-	△2,140
支払利息	681	1,590
事故関連損失	15,000	-
為替差損益（△は益）	0	-
固定資産売却損益（△は益）	△49	△728,016
投資有価証券売却損益（△は益）	-	△9,668
固定資産除却損	848	5,507
リース解約損	124	-
売上債権の増減額（△は増加）	687,368	△177,593
棚卸資産の増減額（△は増加）	162,623	25,091
仕入債務の増減額（△は減少）	△416,480	△236,239
その他	△42,263	△87,373
小計	1,158,065	764,709
利息及び配当金の受取額	12,753	17,808
保険金の受取額	1,046	18
補助金の受取額	-	5,000
利息の支払額	△727	△1,725
法人税等の支払額	△135,320	△148,069
事故関連損失の支払額	△15,000	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020,817	637,741
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△469,527	△626,241
有形固定資産の売却による収入	50	1,665,946
無形固定資産の取得による支出	△183,510	△145,152
投資有価証券の取得による支出	△607	△105,618
投資有価証券の売却による収入	-	13,009
定期預金の預入による支出	-	△900,000
投資その他の資産の増減額（△は増加）	1,018	858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652,577	△97,199

(訂正後)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	331,333	1,347,924
減価償却費	410,646	497,808
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23,273	△6,882
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,570	183,473
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,363	△7,901
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,114	14,030
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	△4,620	△8,966
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	17,767	16,254
クレーム費用引当金の増減額 (△は減少)	△9,059	△4,841
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	170	△34,520
受取利息及び受取配当金	△12,753	△17,808
受取保険金	△1,046	△18
補助金収入	-	△5,000
固定資産受贈益	-	△2,140
支払利息	681	1,590
事故関連損失	15,000	-
為替差損益 (△は益)	0	-
固定資産売却損益 (△は益)	△49	△728,016
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△9,668
固定資産除却損	848	5,507
リース解約損	124	-
売上債権の増減額 (△は増加)	687,368	△177,593
棚卸資産の増減額 (△は増加)	162,623	25,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	△416,480	△236,239
その他	△42,263	△74,364
小計	1,158,065	777,718
利息及び配当金の受取額	12,753	17,808
保険金の受取額	1,046	18
補助金の受取額	-	5,000
利息の支払額	△727	△1,725
法人税等の支払額	△135,320	△148,069
事故関連損失の支払額	△15,000	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020,817	650,750
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△469,527	△626,241
有形固定資産の売却による収入	50	1,665,946
無形固定資産の取得による支出	△183,510	△145,152
投資有価証券の取得による支出	△607	△105,618
定期預金の預入による支出	-	△900,000
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1,018	858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652,577	△110,208

以上